

東京都医師会 定例記者会見

2024年7月16日(火)

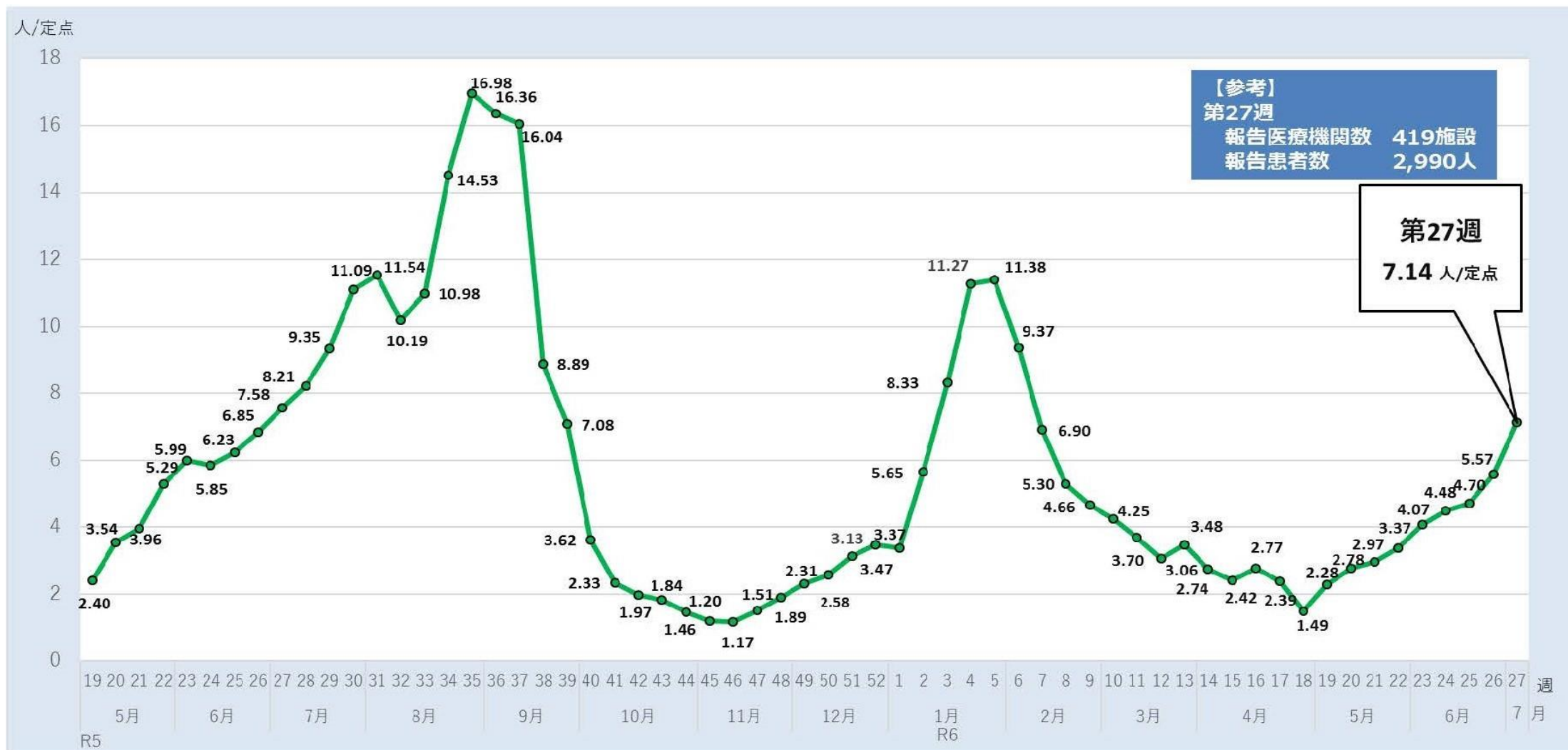
- 新型コロナウイルスの今後の動向
- 都内病院の運営状況 ～人材紹介会社への手数料の影響～
- <シリーズ開催:都民向けのお話>ヘルスリテラシー向上の一つとして
この夏、注意しなければならない病気 ～自ら注意して予防しよう
 - ①夏休みに向けて — 眼科医・耳鼻咽喉科医の立場から —
 - ②熱中症への意識と予防／熱中症の死亡例の検討



新型コロナウイルスの今後の動向

定点医療機関当たりの患者報告数

※第27週（7月1日～7月7日）

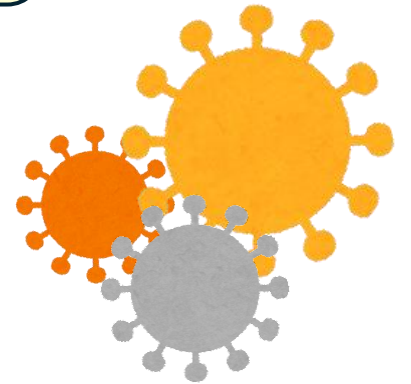


新型コロナウイルスの今後の動向

定点医療機関の患者報告数（第27週）をみると

昨夏の増加カーブと極めて類似している

現在：都民の感染予防策が緩んでいる
感染力の強いKP.3が主流になっている



お盆明けには昨年以上の感染者数になる可能性が高い



新型コロナウイルスの今後

高齢者は、ワクチン効果が薄れ、
春先より続く暑さの影響もあり、**免疫力低下も懸念される**

- ・ 暑さとコロナの発熱、喉の強い痛みなどが重なると、
食思不振、脱水による衰弱で、原疾患の悪化を招き、
重症になる可能性が出てくる



- ・ コロナ治療薬により早めに症状を改善することが大切になる
- ・ 治療薬の自己負担軽減策が強く求められる

